

ニューズレター雪氷北信越

No. 24 平成4年3月10日

発行：日本雪氷学会北信越支部

〒940-21新潟県長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学機械系梅村研究室

Tel0258-46-6000内線7111（太田千恵子）

目次

講演会・学習会・講習会報告／機関誌／その他／第5回総会、研究・製品発表会案内

講演会

長岡地区講演会報告

アメリカ合衆国ユタ雪崩予報センタープログラム部長であるブルース・トレンパー氏の長岡訪問を機会に、新潟地区講演会が、長岡雪氷防災実験研究所と共催で下記の通り開催された。

ブルース部長は、モンタナ州立大学で修士号を地質学について取得後、雪崩予報官として活躍してこられた方で、現在、運輸省管轄地域とスキー場を除くユタ州全域の雪崩予報の責任ある立場で活躍されております。雪崩及びその予報についての科学的研究分野はもちろんのこと、全米の雪崩情報誌である“Avalanche Review”の編集委員長も務めています。また、雪崩の教育者としても、雪崩教育用のビデオテープの作成なども含め、その第一人者として活躍されています。

講演では、現在アメリカで行われている雪崩予報の実際についての紹介がスライド・ビデオを交えて分かりやすく説明された。特に、斜面積雪の安定度についての斜面積雪の直接テスト・爆薬テスト法などの話は雪崩研究者や現場の人にとって興味深く、将来の我国での特に高山地方での雪崩予報について有益であった。

なお、講演会出席者は50名以上で、活発な質疑があり盛会であった。また、終了後簡単な懇親会が開かれた。

（山田幹事 記）

日 時：平成4年1月27日（月） 15：00～16：30

場 所：長岡グランドホテル 末広の間

講 師：Bruce Tremper氏（アメリカ合衆国、林野庁森林局、ユタ雪崩予報センター、プログラム部長）

講演題目：アメリカ（ユタ州）における雪崩予報について

富山地区学習会の報告

「南極における新しい雪氷研究計画について」

2月6日(木)18時～20時に行われた。富山大学の集中講義に來られた国立極地研究所の渡辺興亜教授に講師を依頼した。南極での雪氷観測、特にドーム計画に関して、その意義と内容さらに準備段階のさまざまな仕事について話された。学問的な意義のみならず、氷を掘抜いて過去の環境変動を明らかにしていくという仕事の雄大さやロマンにも触れ、若い学生を中心に大いに刺激される物であった。参加者は13名、場所は富山大学理学部2号館中会議室。

(石坂雅昭 記)

報告

富山地区積雪観測講習会の報告

今年も寡雪の状況で富山地区の積雪観測講習会の開催が危ぶまれ、具体的な立案ができないでいたが、立山山麓にある文部省の「立山少年自然の家」付近ならば多少の積雪が期待できたので、急遽約2週間前に計画し富山県内の関係者に連絡をとって開催した。連絡の十分でなかった点は深くお詫びする次第である。講習会は1992年2月9日(日)、午前9時から13時まで富山県中新川郡立山町芦峯寺の山腹にある上記施設の敷地内で行われた。講師は世話人の飯田肇と川田邦夫がこれにあたった。たまたま前日から降り出した雪は現地で約30センチ余り積もり、朝なおごく軽いぼたん雪がちらほらという状況の中で始まったが、次第に天気は快復して対岸のスキー場には絶好の条件で、目の前に美しく輝く立山連峰が見えるようになってきた。受講者は自分達の仕事や研究の上で知っておきたいという方が5名、他に断面観測の様子を教材としてVTRに作る目的の方が3名の全部で8名であった。短い時間ではあったが熱心な雰囲気の中で行われた。この施設の研修室を借り、昼食をとりながら質疑応答がなされ、その後散会した。

(川田邦夫 記)

報告

平成3年度長野・新潟地区講習会報告

講習題目：スキー場防災の積雪調査実習

日時：平成4年3月3日（火）10:00～16:00

場所：飯山市役所・飯山国際スキー場

講師：遠藤八十一氏（農水省森林総研十日町試験地）

五十嵐高志氏（科技厅防災科技研長岡雪氷防災実験研究所）

佐藤和秀氏（長岡高専）

参加者：18名（内訳 会員3名、一般8名、学生7名）

当日午前中は飯山市役所の一室をお借りし積雪調査法の講義が行われた。昼食後、会場を飯山国際スキー場の一角に移し、午後1時から4時まで3班編成のローテーションで積雪調査の実地指導が行われた。標高400m、積雪深125cm、気温約1℃、小雪の降る中、熱心なスキー場関係の受講者に支えられ、成功裡に講習会を終了することができた。

（幹事 田村）

機関誌

『雪氷北信越9号』発行のお知らせと自由投稿文・広告の募集

北信越支部編集委員会（中尾委員長）では、平成4年5月30日に『雪氷北信越9号』の発行を予定しております。つきましては、下記の通り、随筆・評論的な自由投稿文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。また、同誌に掲載する広告を募集致します。『雪氷北信越6号』最終頁を御参照の上、ご連絡下さい。

1.締切：平成4年5月8日（金）必着 2.字数：3000字程度（用紙は自由）

3.問合せ先：〒940-21 長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学機械系 東信彦（0258-46-6000、内線7120）

その他

『ニューズレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニューズレターを発行いたします。原稿を、下記の書式（できるだけワープロ原稿）で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

※書式 幅16.5cm、1行：33文字、行数：制限は設けないが手短に
字間：2.5mm、行間：5.4mm

ニューズレターに関するお問い合わせは、

長岡技術科学大学機械系 東 信彦 電話0258-46-6000 内線7120 まで

総 会

総 会 & 研 究 ・ 製 品 発 表 会

第5回北信越支部総会および研究発表会・製品発表検討会のお知らせ

日時: 平成4年5月30日(土) 10:30~17:30

場所: 長岡技術科学大学A講義室(JR長岡駅よりバス30分)

〒940-21 長岡市上富岡町1603-1 (電話0258-46-6000)

ア・ロ・ヲ: 10:30~12:00 研究発表会

12:45~13:30 総会

13:45~17:30 研究発表会・製品発表検討会

17:30~ 懇親会(長岡技術科学大学第3食堂)

参加費: 無料(ただし、懇親会参加費は3000円)

予稿集: 発表予稿集掲載の『雪氷北信越9号』を当日配布します。

(日本雪氷学会会員: 無料、非会員: 1000円)

参加申込要領

参加申し込み: 5月 8日(金) 必着 ----- 総会・発表会・懇親会

発表申し込み: 4月18日(土) 必着 (執筆要領は発表申し込みを

予稿原稿提出: 5月 8日(金) 必着 された方に送付。2頁以内)

送付・問い合わせ先: 長岡技術科学大学機械系 東信彦 (内線7120)

〒940-21 長岡市上富岡町1603-1 (電話0258-46-6000, FAX 0258-46-6972)

参加申込用紙 (5月8日必着)

氏 名	所 属 ・ 連 絡 先			
	〒		tel. fax.	
総 会		発 表 会		懇 親 会
参 加	不 参 加	参 加	不 参 加	参 加 不 参 加

発表申込用紙 (4月18日必着)

氏名(所属略記, 発表者に○)	題 目	
連絡先 〒	tel.	fax.
発表種別(どちらかに○)	1. 研究発表会	2. 製品発表検討会